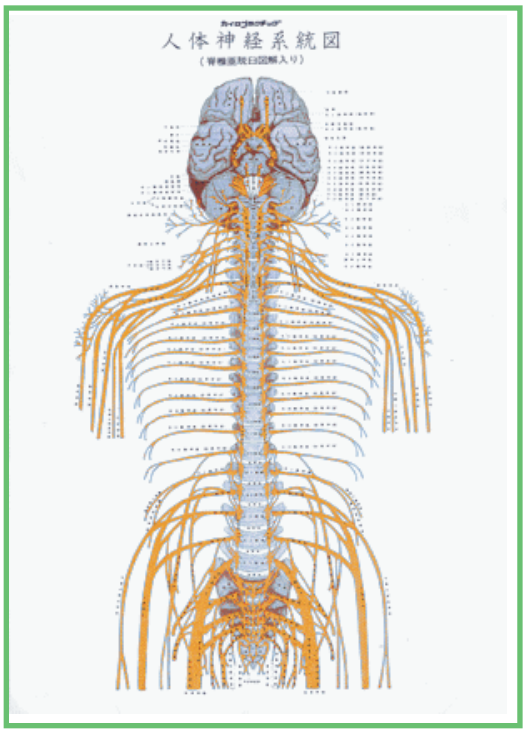
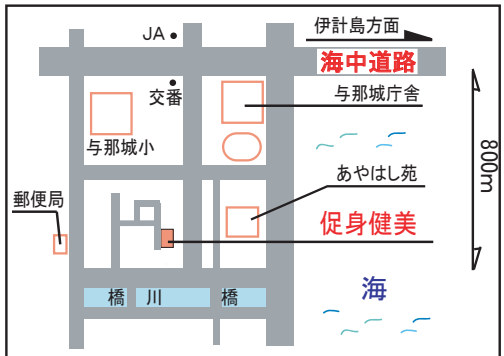
「自分で出来る骨盤矯正」
なぜ骨盤を正す必要があるのか？理解する！
それを意識するのとしないのでは大違い！
・筋肉が硬いと血流が悪くなる
・骨盤が歪むと内臓に直接的なストレスを与える。
という事で前回、前々回とお話ししました。
今回は、神経のストレスについて
神経は、右の図のように、脳と筋肉や内臓を結ぶ連絡線で
背骨を通って、背骨から分岐して筋肉や内臓と繋がっています。
神経は、体を動かすための信号が通る道です。
簡略していうと脳と筋肉や内臓が連絡を取り合うための線です。
例えば足を一歩前に出す時には、脳から足を動かす筋肉に
連絡が伝わり、また、食べ物が胃に入ってきた場合には、消
化のために胃に動いて～という連絡が伝わっています。
また、背骨は骨盤の上にのっかっている構造をしています。
骨盤がゆがんでしまうとその上の背骨を歪みます。
背骨が歪むと神経を圧迫しだします。
背骨のゆがみがひどくなった状態がヘルニアと呼ばれます。
これは骨格が歪むことで椎間板が飛び出し、椎間板が神経に
直接触れている状態です。
ヘルニアは神経に直接触れているのでシビレたり、力が出にく
かったりなど、違和感を感じてしまいます。
神経に圧迫が加わる事で怖いのは、シビレやひどい痛みでは
ありません。内臓の働きに影響がでる事です。
右下の表は神経と内臓の関わりです。
Tは胸椎、LとSは腰椎、迷走神経は、頚椎と関係してきます。
先ほど、ヘルニアになると内臓にも影響がでると言ったのは
これらと関係しているからです。
ヘルニアでよく聞くのは腰椎のヘルニアですが、これが重症化
すると、泌尿器にも影響がでるのは知られています。
ヘルニアは腰椎に限ってでるものではありません。日ごろから背骨を大事にしたいところです。



交感神経 神経分節	器官	副交感神経 神経分節
Ｔ１～Ｔ３	瞳孔・涙	迷走神経
Ｔ１～Ｔ２	唾液	迷走神経
Ｔ２～Ｔ７	肺	迷走神経
Ｔ１～Ｔ５	心臓	迷走神経
Ｔ６～Ｔ10	肝臓	迷走神経
Ｔ11～Ｌ１	腎臓	迷走神経
Ｔ６～Ｔ11	胃	迷走神経
Ｔ６～Ｔ10	膵臓	迷走神経
Ｔ６～Ｔ11	腸	Ｓ２～Ｓ４
Ｔ11～Ｌ４	直腸	Ｓ２～Ｓ４
Ｔ12～Ｌ４	膀胱	Ｓ２～Ｓ４

休日
水曜日、土曜日の午後。
営業時間
午前(10:00～14:00)
午後(15:30～19:30)
メールでの問い合わせ:matsukou@urumachiro.com
電話:080－1545－5637

ホームページ
うるまカイロ　検索
http://hushigiseitai.com



きじモンが目印（キジムナーの人形）
与那城庁舎または海中道路入り口から車で2～3分

「気持ちが大事」
不思議整体
Sixthsensetherapy
うるまカイロ